

石川島記念病院

地域連携室 徳永 裕 ・ 菅谷 友希

功 績	COVID-19患者と回復期リハビリテーション患者の入退院の調整、ご家族との調整、多職種との連携をスピーディに行い病院の収益に貢献している功績。
推 薦 者	丸山 恭子
推 薦 理 由	COVID-19専門病院へのスムーズな転院ないし退院支援を行い、さらに、回復期リハビリテーションとして再開時に、各施設へお知らせを行い、入院患者を確保でき2つの機能をもった病院として運用できている貢献と患者さんに対する親身な態度に対して推薦いたします。

内 容

『医療ソーシャルワーカー業務指針』（厚生労働省）では、医療ソーシャルワーカーの業務として①受診・受療援助②療養中の心理的・社会的問題の解決、調整援助③退院援助④社会復帰援助⑤経済的問題の解決調整援助⑥地域活動の6つの業務が示されています。菅谷友希MSWと徳永裕MSWは、これまでも患者さん・ご家族からの生活情報の提供を始めとし他施設のMSWとの連携、多職種との連携を滞りなく入退院の調整を実施しています。しかし、昨年度の9月よりCOVID-19の患者さんを受け入れるようになってから、回復期入院患者の退院・転院の調整を行い、入院していた回復期の入院患者をトラブルなく退院または転院させ、COVID-19の患者さんを受け入れる病院として9月27日より機能変更をすることができました。COVID-19の患者受け入れ病院として開設してからは、東京都調整本部と保健所から連絡が来るため、PHSを2台常に持参し、入院時間の調整、コロナタクシーの手配、各階にエレベーター使用禁止・開始の札を入院患者ごとに掲示・除去、関連部署への連絡などに走り回っています。これまで以上に種々の業務の増加となっても、変わらず丁寧で親身な対応をしているため、毎回、退院される患者さん・ご家族の方が地域連携室にまで足を運び、感謝の言葉を言っていくのだと思います。

ベッドコントロールミーティングでの司会をし、入院前の患者情報提供、退院日数の管理、FIMの実績管理などの情報管理を担い、多職種が適切に入退院が判断できるよう情報提供をしてくれています。間接的に病院の経営の改善になるよう入退院の調整をしております。さらに、医師・看護師へのきめ細やかな情報提供があり、患者さんを理解するうえでとても助かっています。COVID-19の入院患者と回復期リハビリテーション病院の二足の草鞋を滞りなく運営できているのもMSWの貢献が大きいと思っています。